

2013年9月より Massachusetts Institute of TechnologyのDepartment of Nuclear Science and Engineeringの博士課程に所属しています曾根 彬です。現在はPaola Cappellaro教授の指導の下で固体系の核スピン・電子スピンの量子制御理論の研究に携わっております。今回はMITならではの感動的なストーリーを分かち合いたいと思います。

\*\*\*\*\*

2001年、MITのWolfgang Ketterleが当時コロラド大学で教鞭をとっていたEric ConnellとCarl Wiemanとともに世界で初めてボースアインシュタイン凝縮(BEC) の実験に成功したことによりノーベル物理学賞を受賞した。実はこの研究の裏に偉大な物理学の巨匠の姿があった。David Pritchardである。1990年、WolfgangはDavidの研究室に招かれ、ポストドクターとしてDavidが長年従事していたBECの研究をしていた。3年後、Wolfgangは他のInstitutionから教授職を得た。しかし、こうなると折角順調だったBECの研究を中断せざるを得ない状態となってしまう、Wolfgangもそのことで頭を抱えていた。そこで、DavidはWolfgangを学校側に推薦し、Wolfgangはassistant professorとなった。しかし、アメリカの大学では同じDepartmentでは同様な研究をしてはいけないという伝統があった。そこでDavidは自分の研究方向を変え、長年従事してきたBECの研究をWolfgangに受け継いだのである。Davidは次のように話したらしい。「私はこの研究から身を引く。なぜなら、そのことによって最高の同僚を得ることができるから。」と。

Wolfgangの研究はその後研究も順調に進み、世界で初めてBECの観測に成功した。その後、ドイツからWolfgangに是非ドイツに帰ってきてBECの研究を指導してほしいという申し出があり、Wolfgangも其れに同意したが、支えてくれたMITとDavidに別れを告げるのには心が痛いほど辛かったと語っていた。しかし、MITとDavidはそんなWolfgangを励まし、彼の決断を尊重した。だが、何度も悩んだ末Wolfgangはドイツに帰ることを断念し、MITに残ることにした。

2001年にWolfgangはノーベル賞を受賞し、彼はメダルを複製し、全くそっくりな二つのメダルをDavidのオフィスに持ってきた。そして、Davidにどれが本物のメダルなのかを当てさせたという。そしてDavidは即座に本物のメダルを当てたのだ。Wolfgangはその本物のメダルを持ってDavidに渡し、次のように言った。「あなたこそこのメダルに適した方です。どうぞ、この本物のメダルをお受け取りください。」と。そして二人は抱き合って喜びあった。ノーベル賞受賞後、MITはその功績を讃えるべく理事や著名な卒業生を集め、学校規模のBECに関する報告会を主催した。Wolfgangの報告が始まる前にDavidが段に登り、本物のメダルを見たいかを聴衆に聞き、そして彼はポケットからあのノーベル賞のメダルを取り出したのである。そして彼は聴衆の一人一人に回し、そして笑いながらこう言った。「見終わったら返してね。家に持って帰らないといけないから。」と。全員がこの感動的な瞬間を目の当たりにし、誰もがDavidとWolfgangの間にある同僚という関係を超えた、年月を重ねて生まれた人と人の間に生まれた暖かさに感動した。

偉大な科学者とは何なのだろう。アインシュタインやキュリー夫人のような科学の巨匠は今日私たちからどんどん遠ざかり、歴史人物として扱われようになってしまった。しかし、WolfgangとDavidの姿から私たちにその真なる偉大な科学者を目の当たりにした。科学研究において業績はもちろん重要であるが、もっと大切なのは自分を支えた人々ととの絆であると私は言いたい。

奨学生 曾根 彬

2017年2月15日

マサチューセッツ州 ケンブリッジ